

初代法文学部長の留学

—佐藤丑次郎旧蔵絵葉書集から—

今回紹介するのは、東北帝国大学法文学部初代学部長の佐藤丑次郎（1877-1940）旧蔵の絵葉書集です。

佐藤丑次郎は第二高等学校を卒業後、明治32年（1899）、京都帝国大学法科大学政治学科に一期生として入学しました。明治39年には助教授となり、政治学、政治史の講座を担当します。明治41年から3年間、ドイツ・フランス・イギリスへ留学し、帰国後教授となりました。

大正9年（1920）、佐藤は東北帝国大学法文学部創立委員長となり、同11年9月、法文学部憲法学講座教授として仙台に赴任します。法文学部長を昭和5年まで務め、昭和14年3月に退職しました。

佐藤丑次郎旧蔵絵葉書集は総数487点（1点は未使用）に及びます。佐藤宛のものが422点と大部分を占めますが、佐藤が留学先から妻峰子に差し出したものが63点、次男晋宛のものが1点含まれています。

佐藤宛のものは、3年間のヨーロッパ留学時のものが最も多く、257点あります。それらからは、京大法科の同期佐々木惣一（行政法）をはじめとした法学研究者のみならず、理系の研究者などとの幅広い交流の中で、留學生活を送っていたことがわかります。また、仙台赴任後のもの89点の中には、ヨーロッパに留學中の法文学部助教授たちから差し出されたものもあり、現在東北大学附属図書館に所蔵されている文庫購入の様子などが記されています。

これらの絵葉書は、初代法文学部長とその関係者の留學の実態を知ることのできる貴重な史料です。

（写真）京大の同僚からの絵葉書

左下に富田山寿（刑事訴訟法）・河上肇（経済学）・竹田省（商法）らの署名がある。

